Mac OS X　インターネットアプリケーション InternetConnect の ご利用方法 <WARPSTAR　TA モード（シリアルポート接続）編>

はじめに

この説明書では、Aterm WL50T または WB50T のシリアルポートに Mac OS X を接続して、TA モードでお使いいただくための設定を説明しています。

TA モードでインターネットに接続するには Mac OS X に付属のダイヤルアップソフトウェア「Internet Connect バージョン 1.0」を使ってインターネットに接続するための設定を行います。

Macintosh と WARPSTAR を RS-232C ケーブルで接続して Internet Connect を利用することができる機種は次の通りです。

AtermWL50T/AtermWB50T

（ご注意）

・本書では、Power　Mac G3 に Mac OS X 10.0（Build 4K78）をインストールし、InternetConnect を使ってインターネットプロバイダ BIGLOBE に接続した場合の画面を用いて説明しています。
・Mac OS X では、AtermWL50T または WB50T の USB ポートに接続して TA モードを利用する USB-TA モードをご使用になれません。

目次

１．準備

１．１ WARPSTAR の内蔵 TA 機能ファームウェア

WARPSTAR を「InternetConnect」が利用できるように、WARPSTAR 内蔵 TA のファームウェアをバージョンアップします。
内蔵 TA 用ファームウェアの最新版(Ver1.50 以降)をホームページ AtermStation からダウンロードし、WARPSTAR をバージョンアップしてください。ユーティリティのインストール方法、ファームウェアをバージョンアップする方法は、ホームページ AtermStation や WARPSTAR に添付されている CD-ROM をご覧ください。

Internet Connect の動作確認を行ったファームウェアのバージョン
AtermWL50T/WB50T （内蔵 TA ファームウェアバージョン Ver1.50）

１．２　CCL ファイル（同期接続の場合以外）

同期接続以外を行う場合は、下記の CCL ファイル（モデムスクリプト）を Macintohs の Mac OS X がインストールされているボリュームの「Library」－「Modem Scripts」フォルダ内にコピーします。

ＣＣＬファイルは WARPSTAR に添付されている CD-ROM の「TA モード」－「CCL」フォルダに入っています。

非同期　57.6Kbps	NEC AtermIT 57.6K
PIAFS　32K	NEC AtermIT 32K PIAFS
PIAFS　64K	NEC AtermIT 64K PIAFS

※PIAFS64Kbps 接続でインターネット接続している場合に Web ページの表示が途中でとまることがあります。
この場合は、PIAFS のアクセスポイントへ 32Kbps 通信で接続すると回避されます。
Web ページが表示されない時、ブラウザの「中止」ボタンをクリックすると表示がおこなわれる場合があります。

１．３　Macintosh と WARPSTAR を接続

（１）Macintosh を Mac OS X で再起動します。
（２）Macintosh のモデムポートまたはプリンタポートに WARPSTAR を RS-232C ケーブルで接続します。

これで、準備は終了です。

２．Internet Connect アプリケーションを開く

（1）「DOCK」の「Finder」をクリックします。



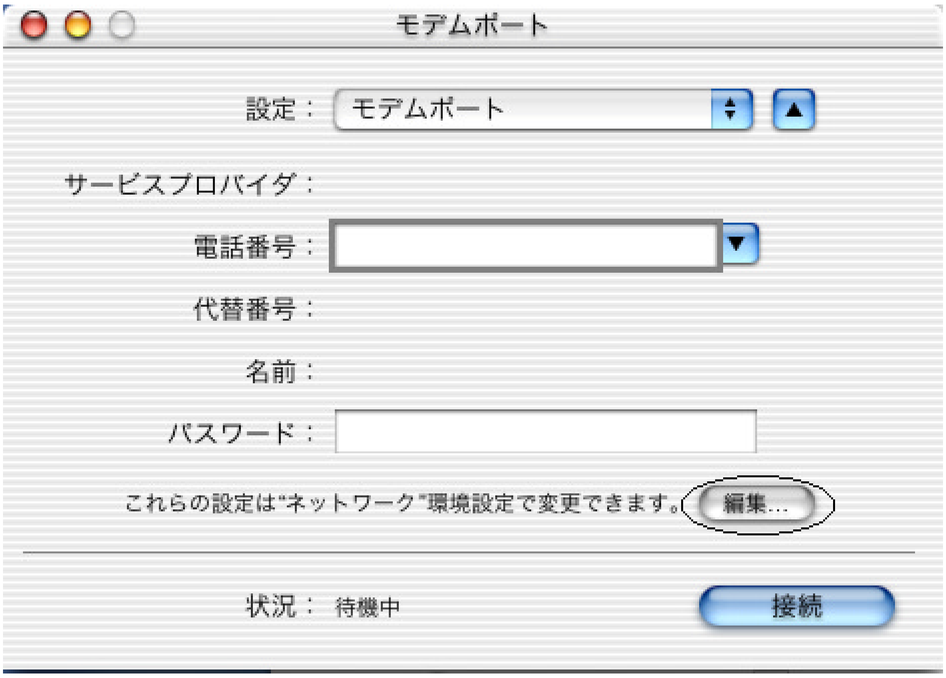
（2）ツールバーの「アプリケーション」をクリックします。



（3）「Internet Connect」アイコンをダブルクリックします。



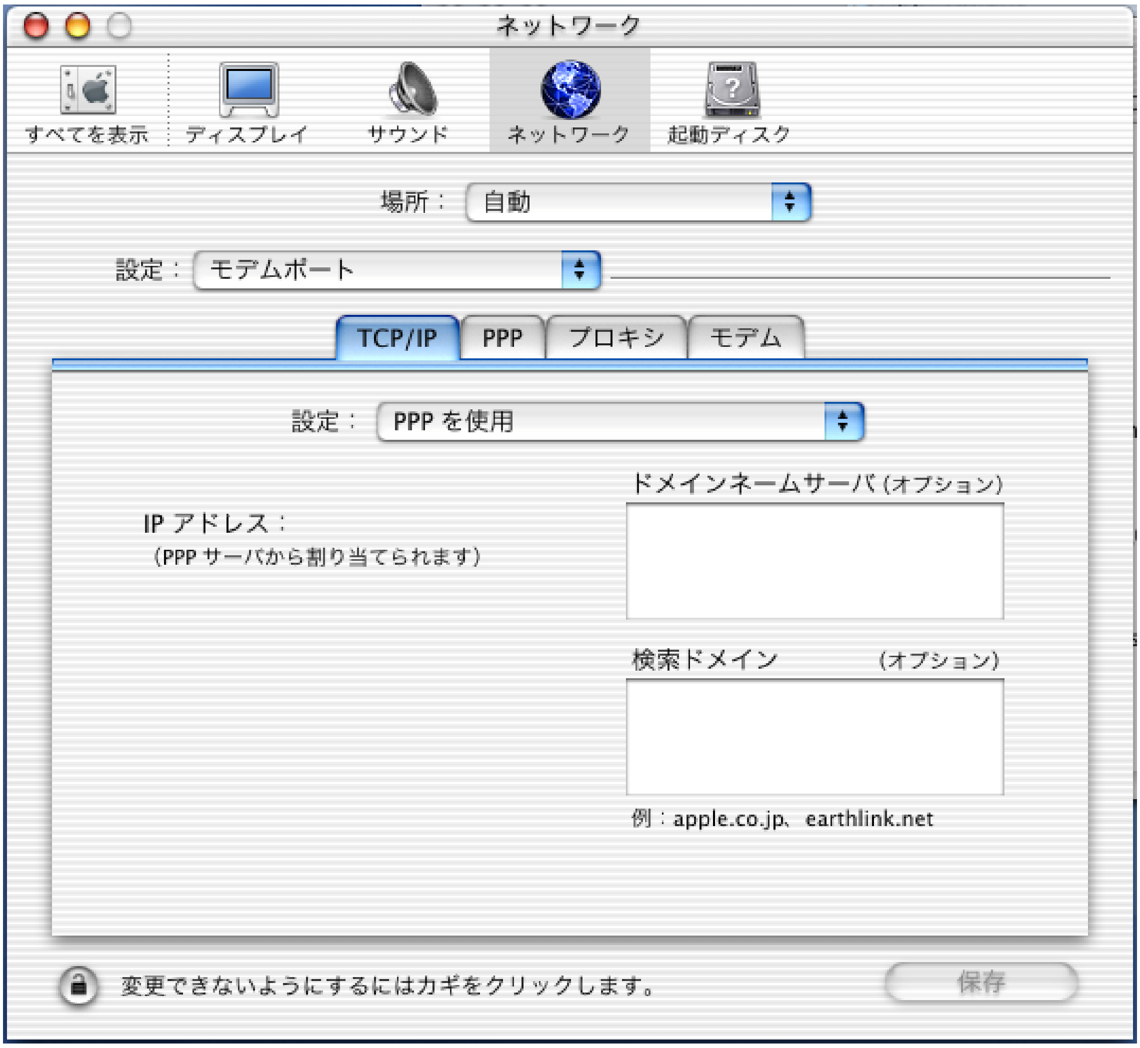
（4）「編集」をクリックして、ネットワークの設定に進みます。



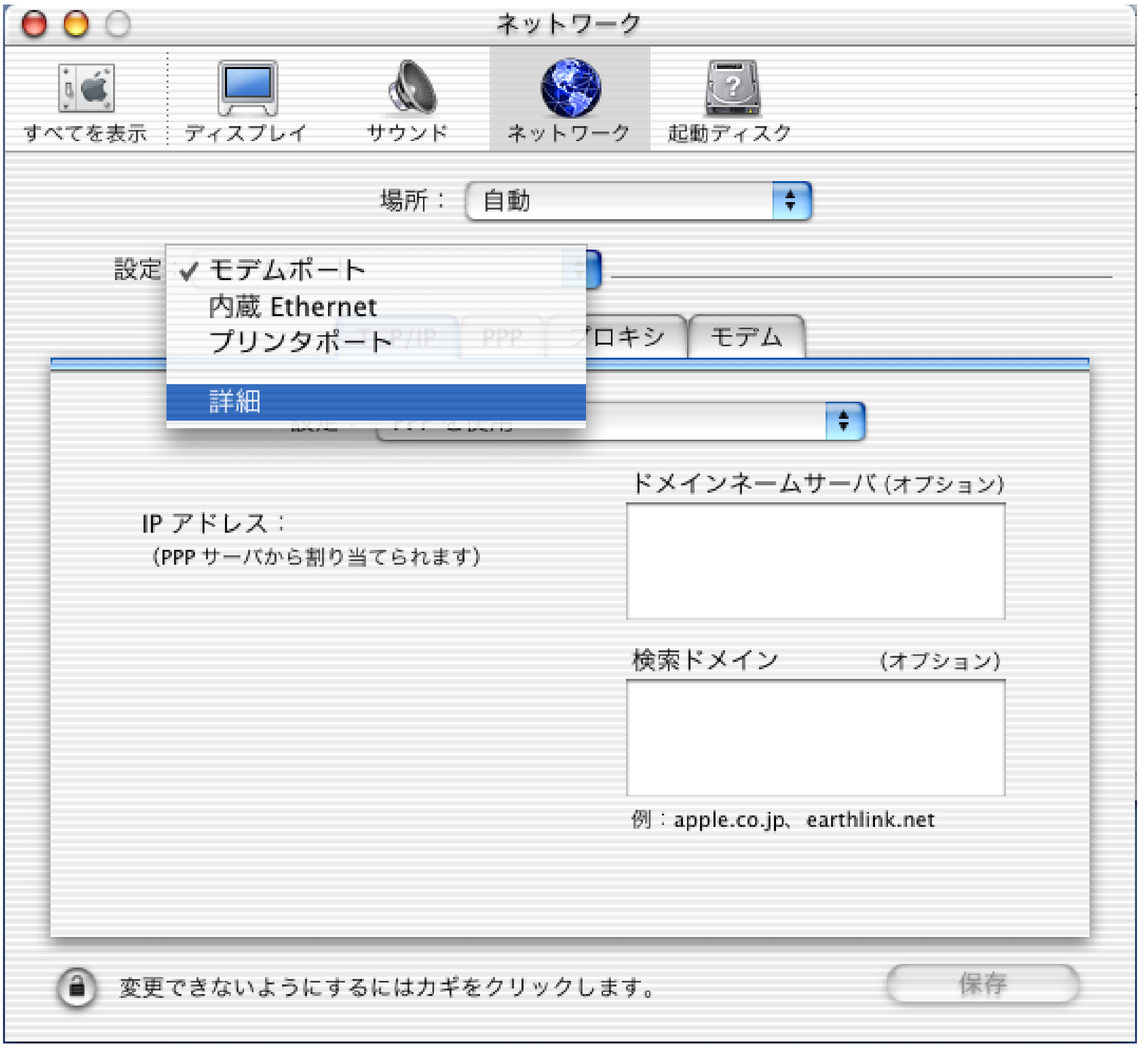
３．ネットワークの設定

３．１　ポートと設定

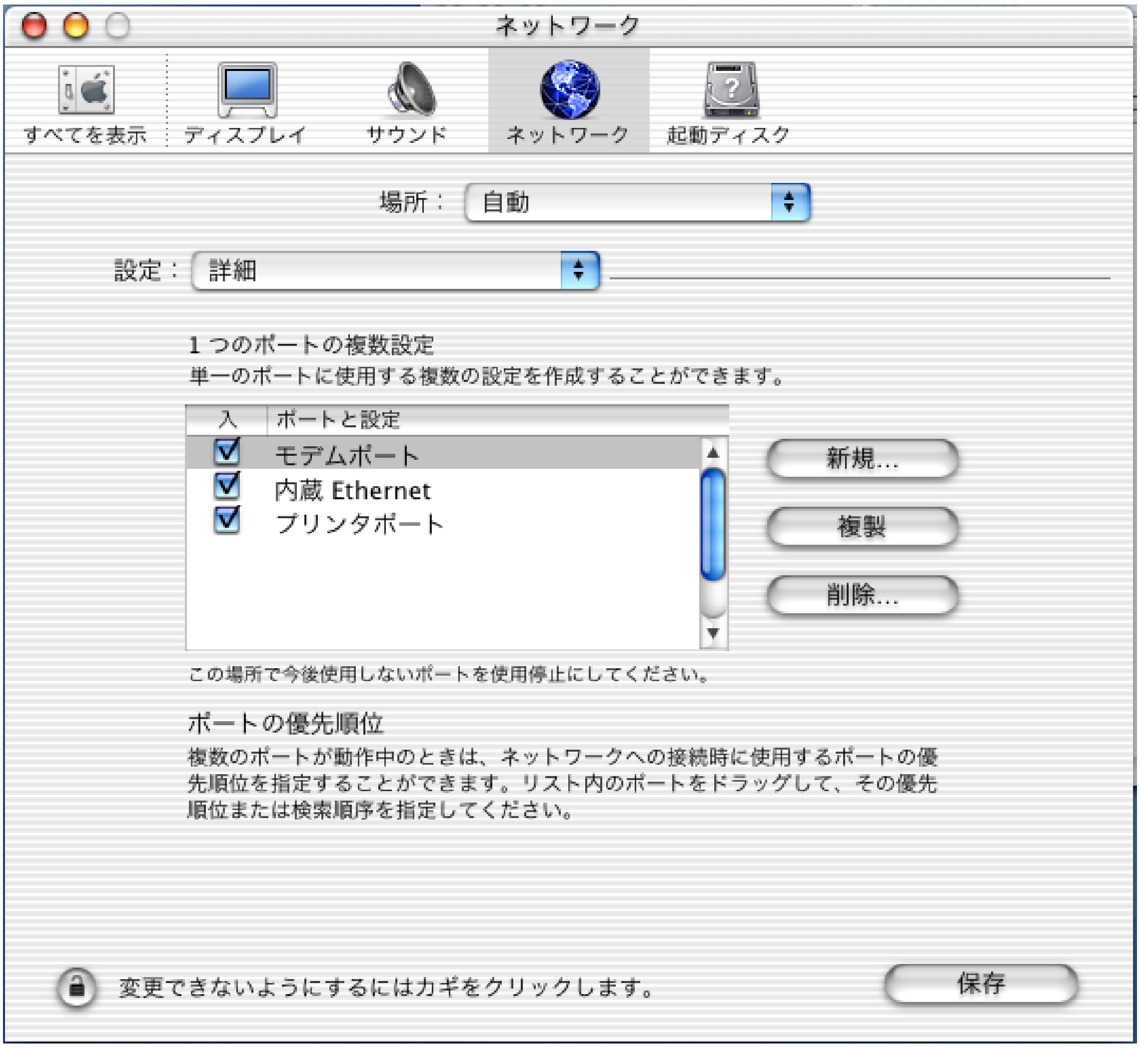
（1）「システム環境設定」の「ネットワーク」設定画面が表示されます。



（2）「設定：」のポップアップメニューから「詳細」を選びます。
（Mac OS X 10.1 の場合は「表示：」のポップアップメニューから「動作中のネットワークポート」を選びます。）



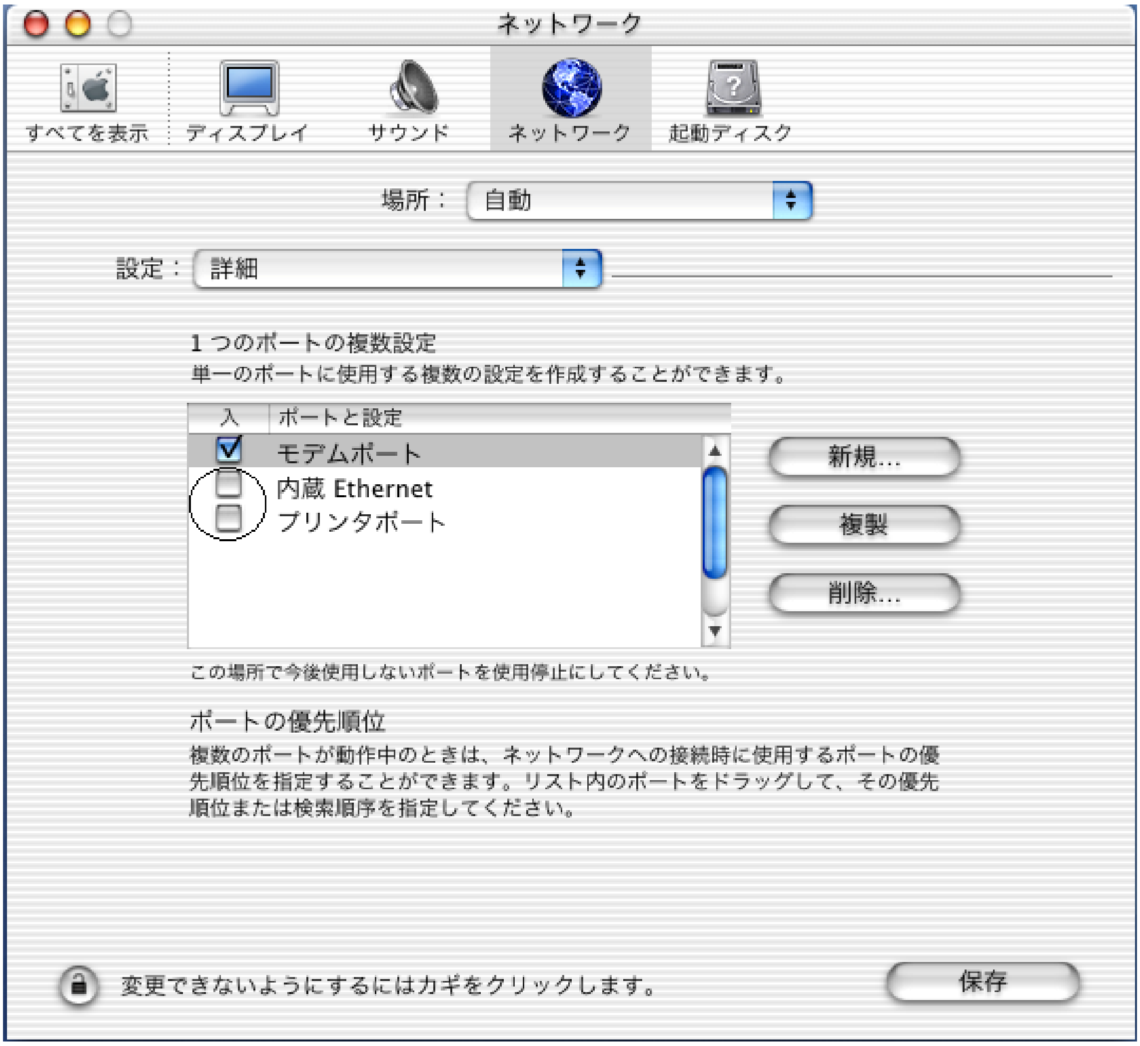
（3）「ポートと設定」のリスト内に「モデムポート」「プリンタポート」が表示されています。ここでは、Macintosh の「モデムポート」に RS−232C ケーブルで WARPSTAR を接続した場合の例を示します。



（4）WARPSTAR を接続したポート「モデムポート」をドラッグしてリストの一番上に移動し、複数ポートが動作中の時の優先順位を１番に指定します。



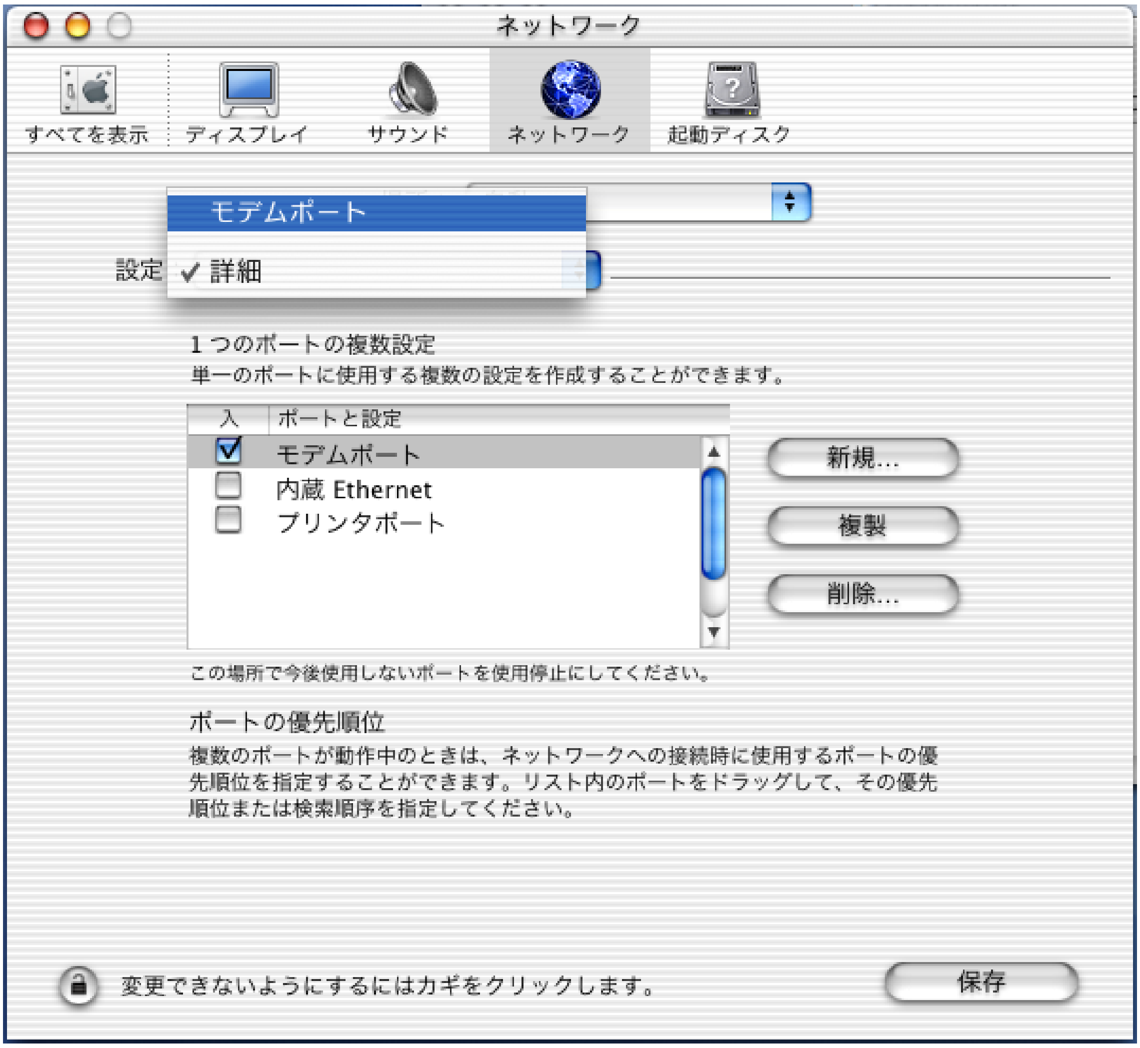
（5）他のポートを使用停止にする場合は、リスト内の「入」チェックボックスのチェックをはずしてください。



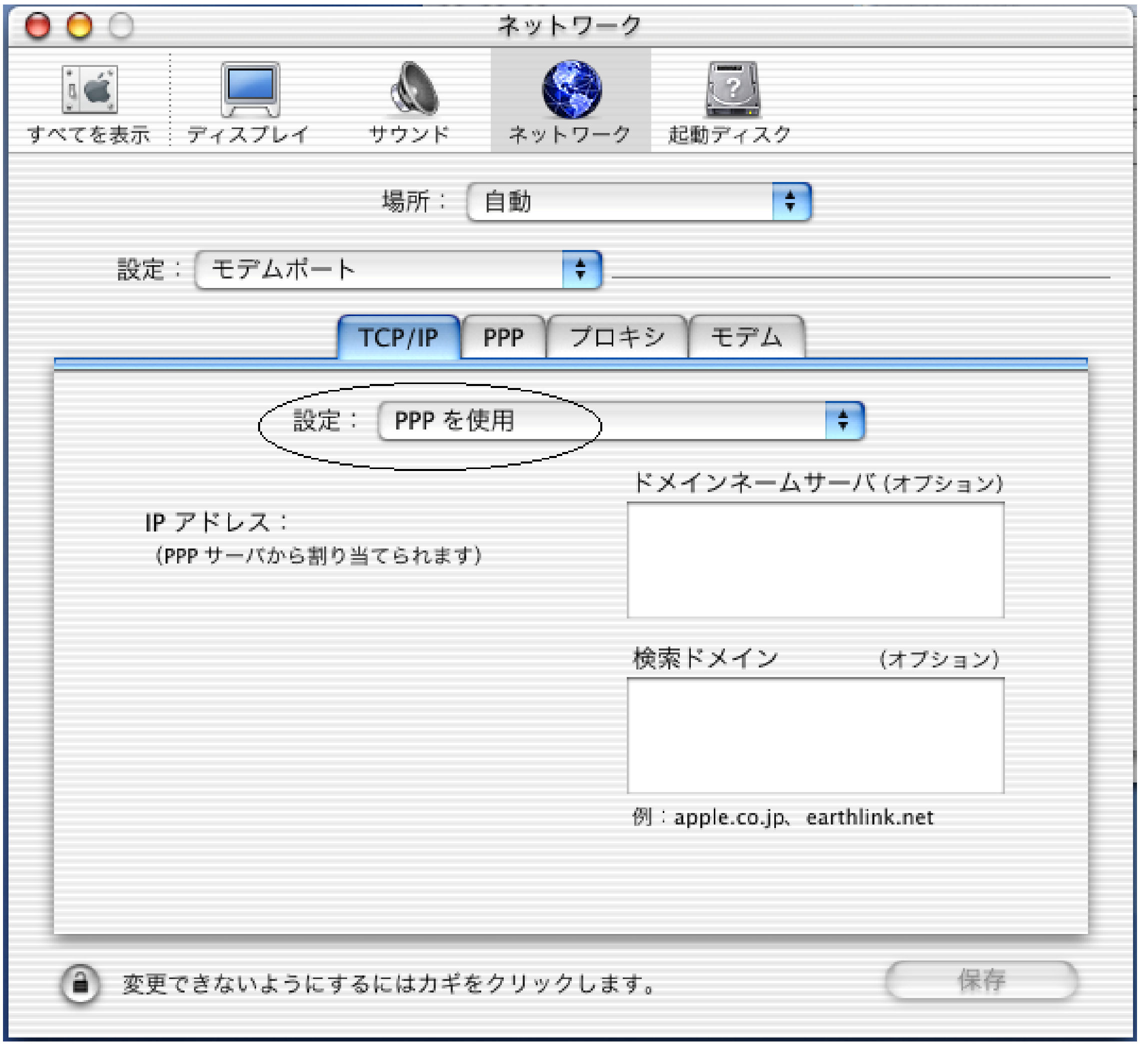
３．２　ＴＣＰ／ＩＰの設定

（1）「設定：」のポップアップメニューから「モデムポート」を選びます。

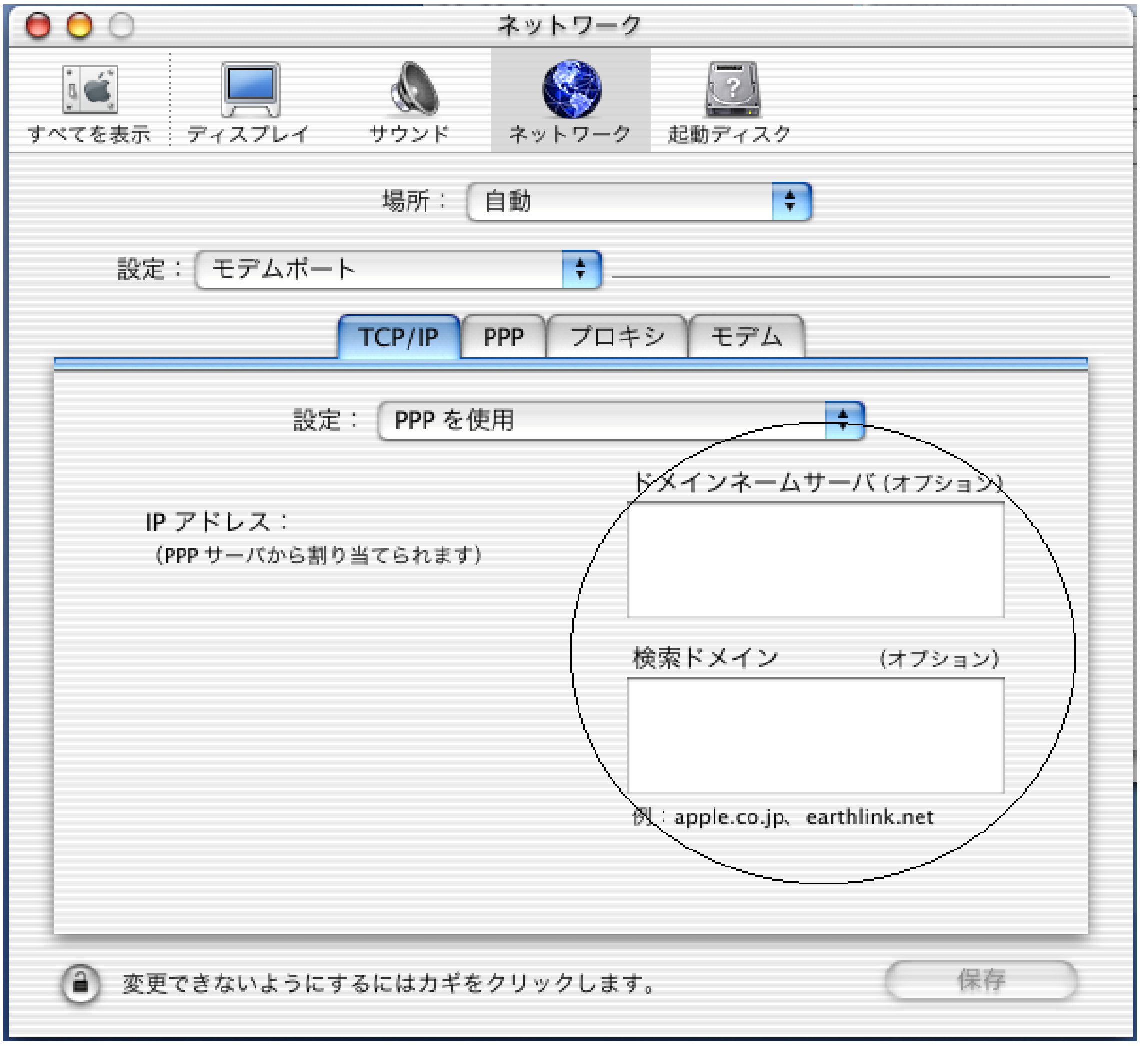
(Mac OS X 10.1 の場合は「表示：」のポップアップメニューから「モデムポート」を選びます。)



（2）「ＴＣＰ／ＩＰ」タブ画面の「設定」ポップアップメニューから「ＰＰＰを使用」を選びます。



（3）ドメインネームサーバ欄にプロバイダから通知された DNS の IP アドレスを入力をします。
「検索ドメイン」欄にプロバイダから通知されたドメイン名を入力します。
入力は、プロバイダから通知された英数字（大文字、子文字）を正しく半角で入力してください。
DNS の設定の必要性がないプロバイダの場合は、「ネームサーバアドレス」欄や「検索ドメイン」欄に設定する必要はありません。

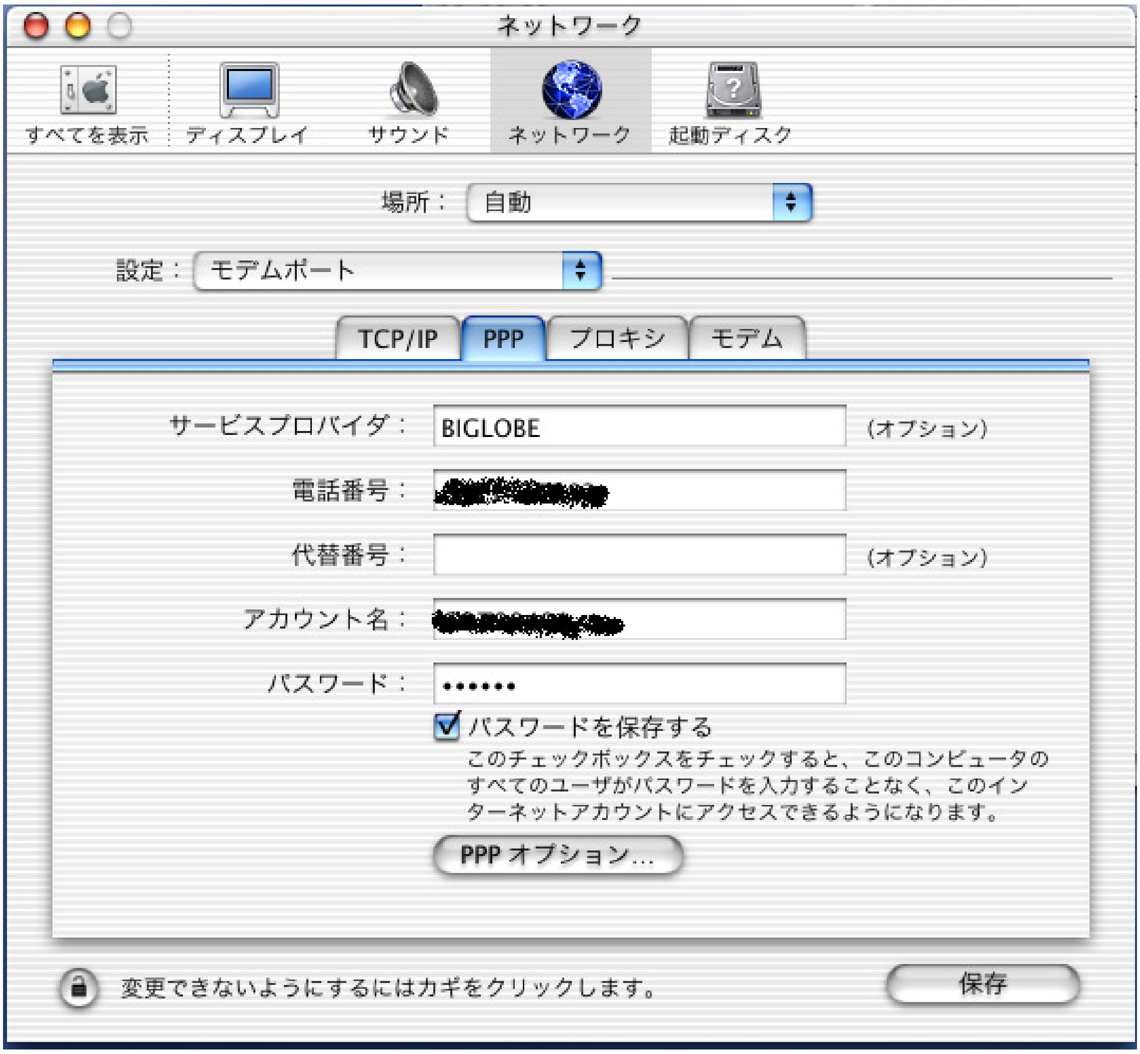


３．３　PPP の設定

（1）「ＰＰＰ」タブをクリックします。

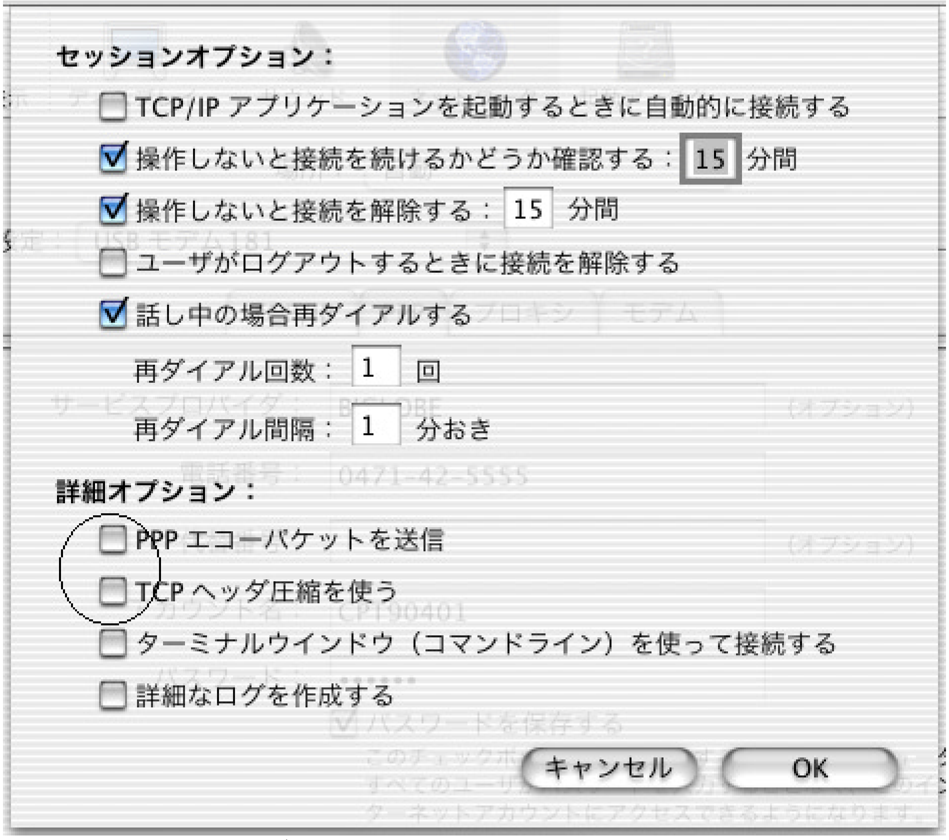


（2）「サービスプロバイダ：」欄には、任意の名称（一般的には接続するプロバイダ名）を入力します。
（3）「電話番号：」欄には、アクセスポイントの電話番号を入力します。
（4）「アカウント名：」欄には、プロバイダから通知されたユーザ ID を入力します。
特にフレッツ・ISDN を利用している場合は間違えのないようにしてください。
（5）「パスワード：」欄には、プロバイダから通知されたパスワードを入力します。
（6）「ＰＰＰオプション...」ボタンをクリックします。



（ご参考）
・パスワード入力の時には、“……”のような表示となります。これは入力したパスワードを隠すためです。

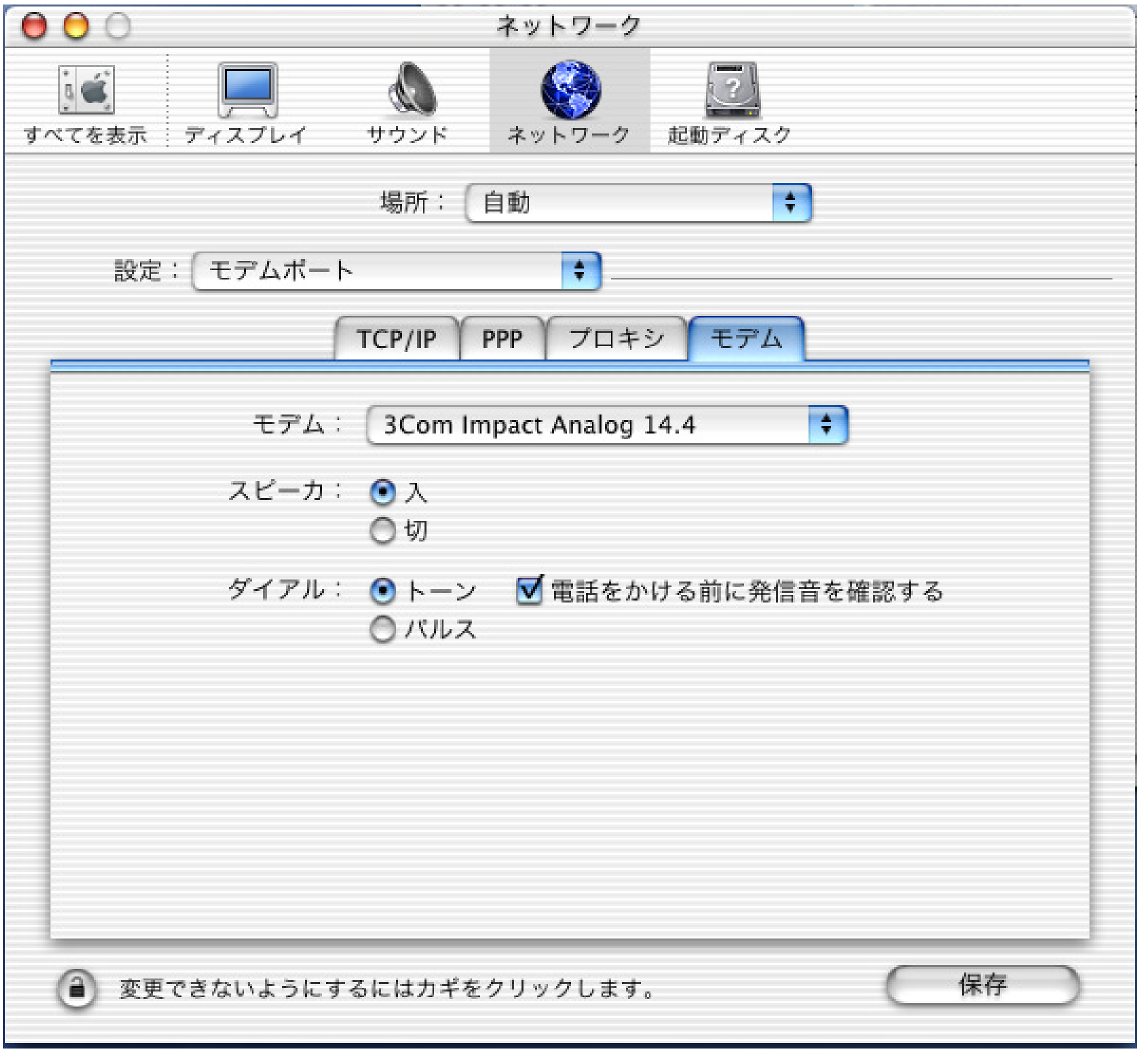
（7）「詳細オプション：」の「ＰＰＰエコーパケットを送信」のチェックをはずします。
（8）「詳細オプション：」の「ＴＣＰヘッダ圧縮を使う」のチェックをはずします。
（9）「ＯＫ」をクリックします。



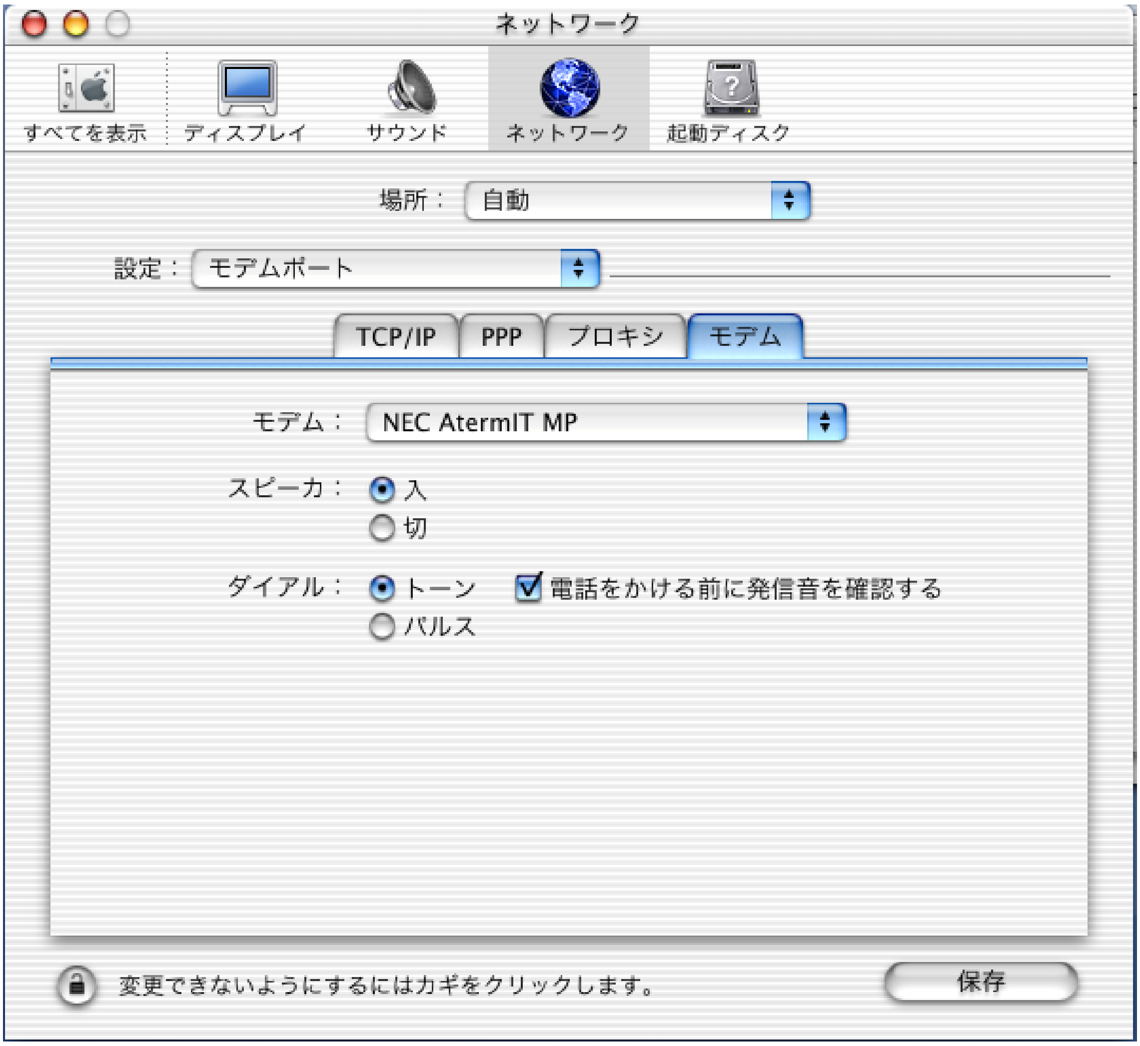
これで、ＰＰＰの設定が終了しました。

３．４モデムの設定

（1）「モデム」タブをクリックします。

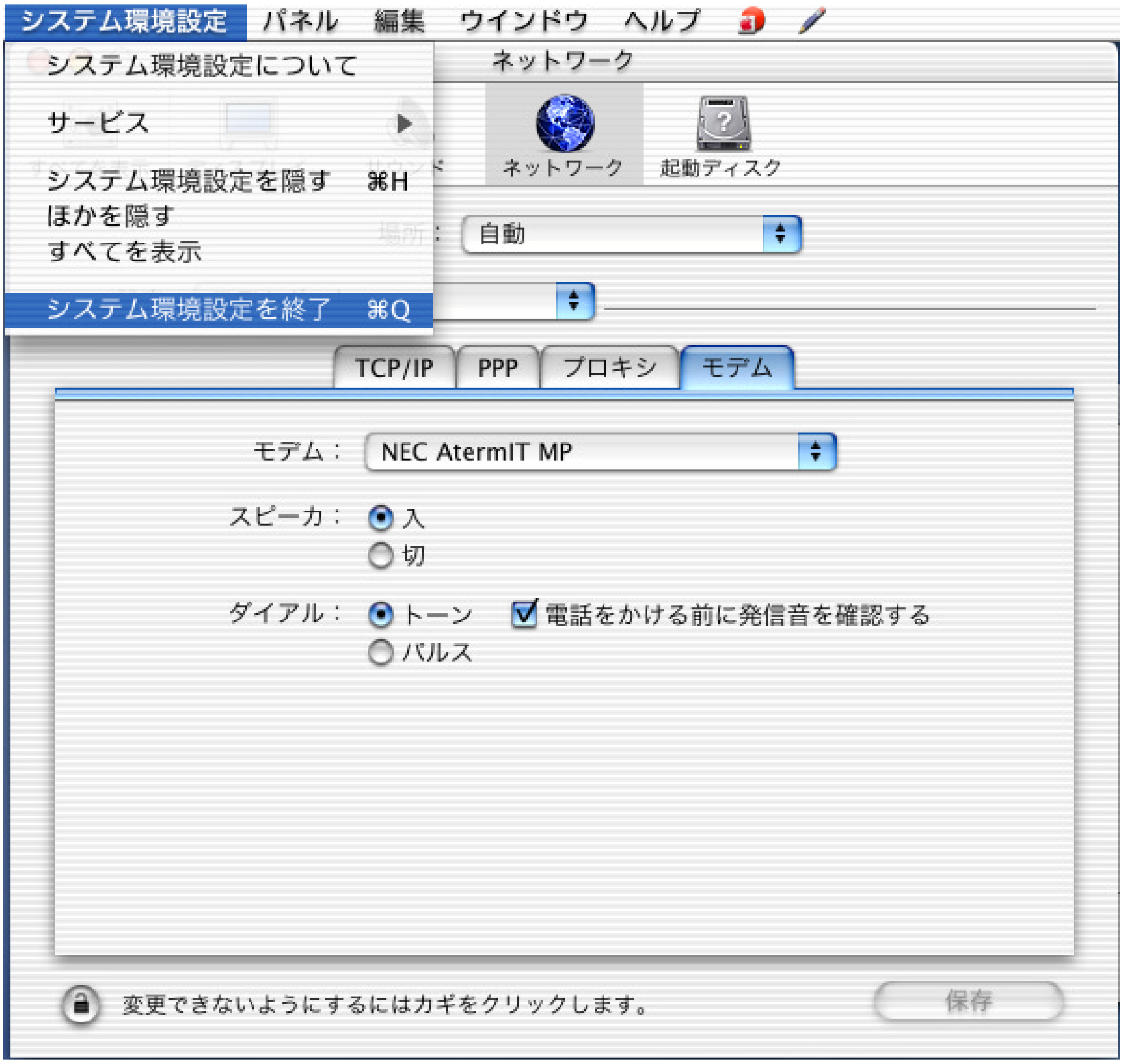


（2）「モデム：」ポップアップメニューから、プロバイダのアクセスポイントに合った CCL ファイル（モデムスクリプト）を選択します。例では、「NEC AtermIT MP」を選択しています。



アクセスポイント	ＣＣＬファイル（モデムスクリプト）
ISDN 回線 64Kbps 同期、フレッツ ISDN の場合	NEC AtermIT 64KPPP
ISDN 回線 128Kbps 同期	NEC AtermIT MP
非同期　57.6Kbps	NEC AtermIT 57.6K
PIAFS　32K	NEC AtermIT 32K PIAFS
PIAFS　64K	NEC AtermIT 64K PIAFS

（3）「保存」をクリックします。
（4）「システム環境設定」メニューから「システム環境設定を終了」を選び、Internet Connect 画面に戻ります。



これで、ネットワークの設定が終了しました。

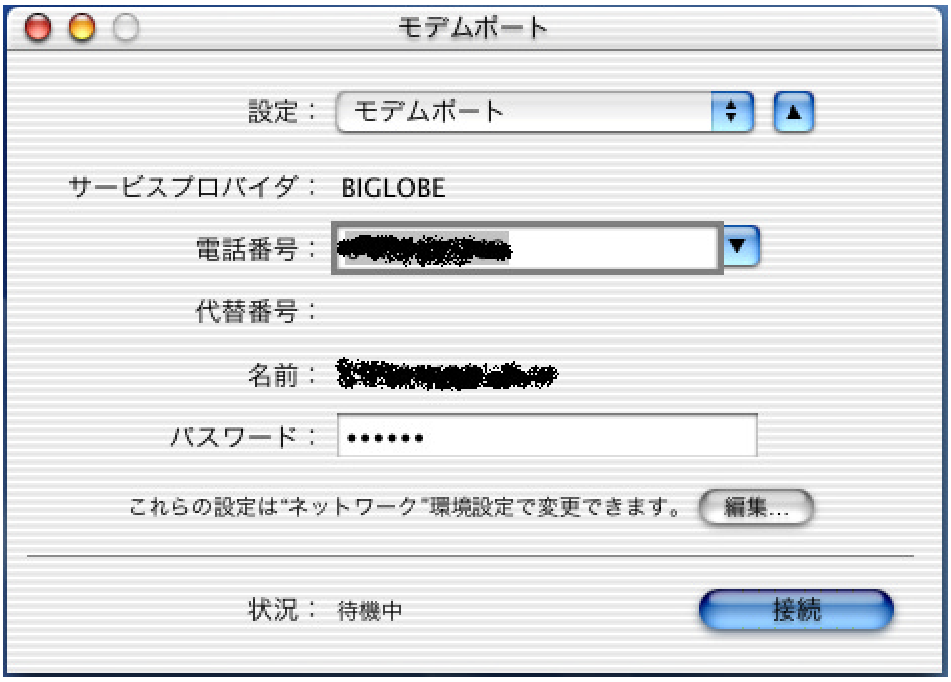
4．接続

（1）Internet Connect の画面で次のことを確認します。

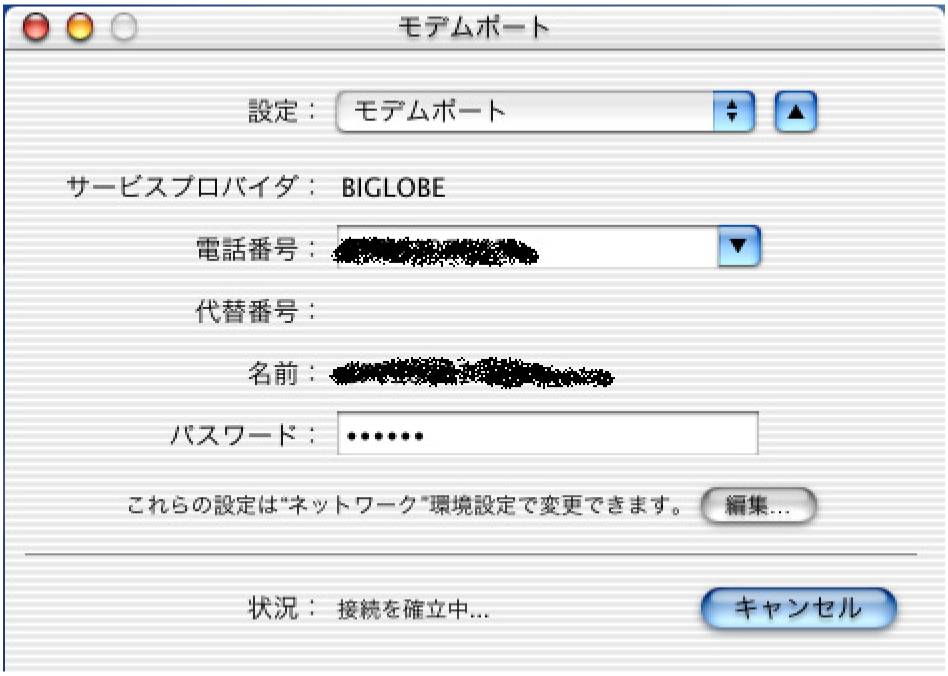
・「設定：」ポップアップメニューは、WARPSTAR が接続されているポートが選択されていますか

・「電話番号：」ポップアップメニューは、アクセスポイントの電話番号が選択されていますか

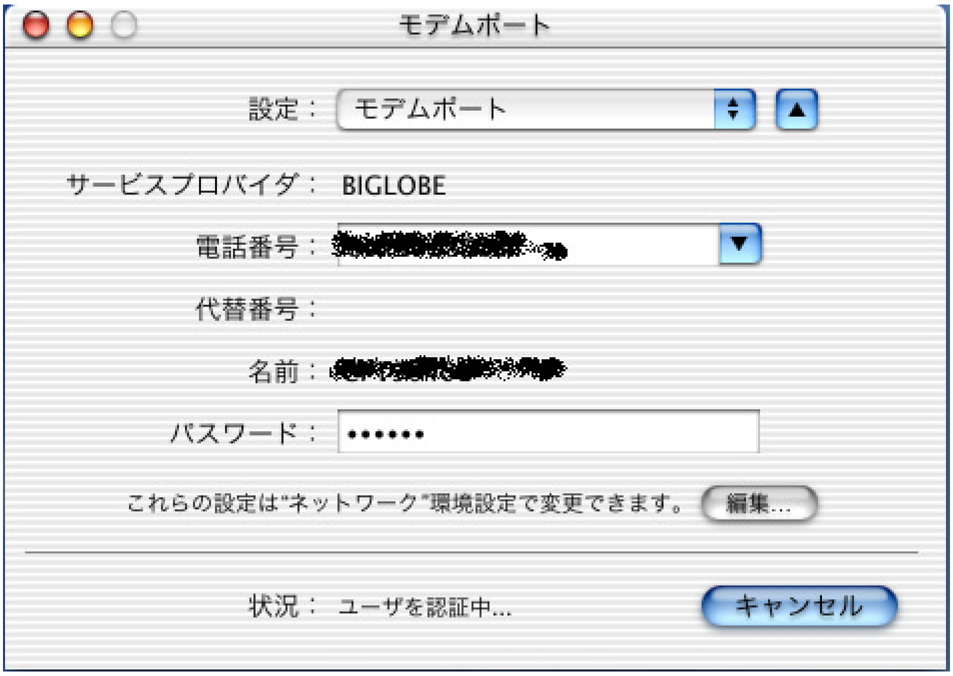
（2）「接続」をクリックします。



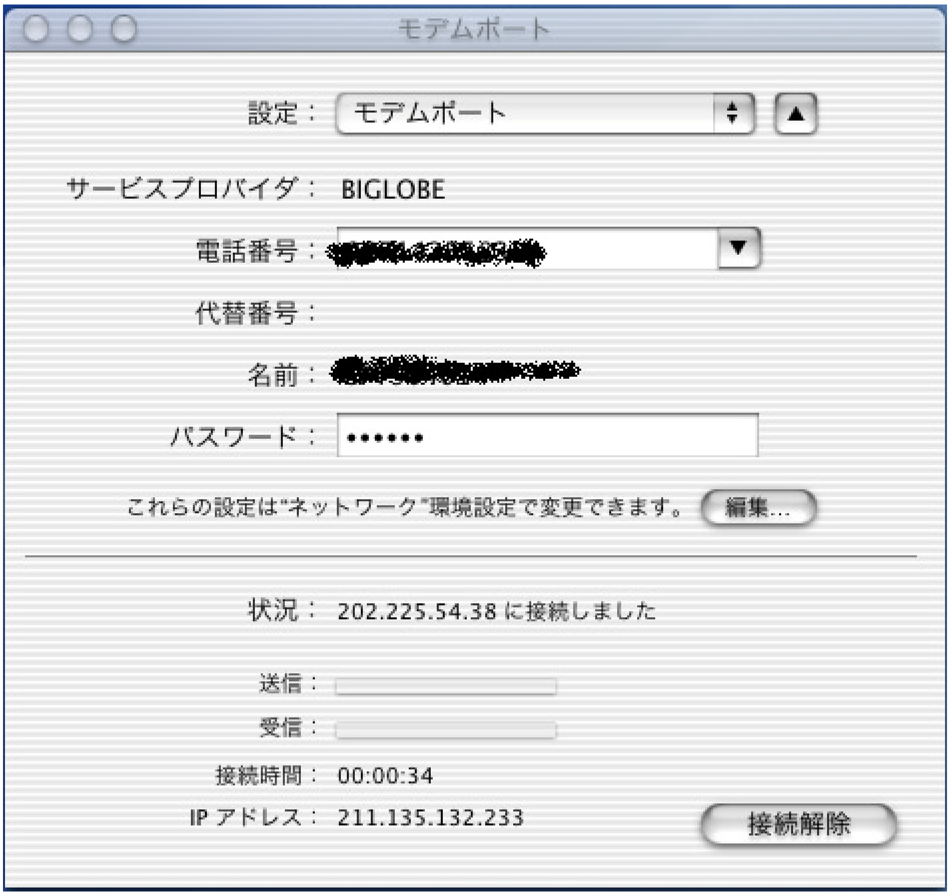
（3）プロバイダに電話をかけ、接続を確立中であることが「状況：」欄に表示されます。



（4）ユーザを認証中であることが、「状況：」欄に表示されます。



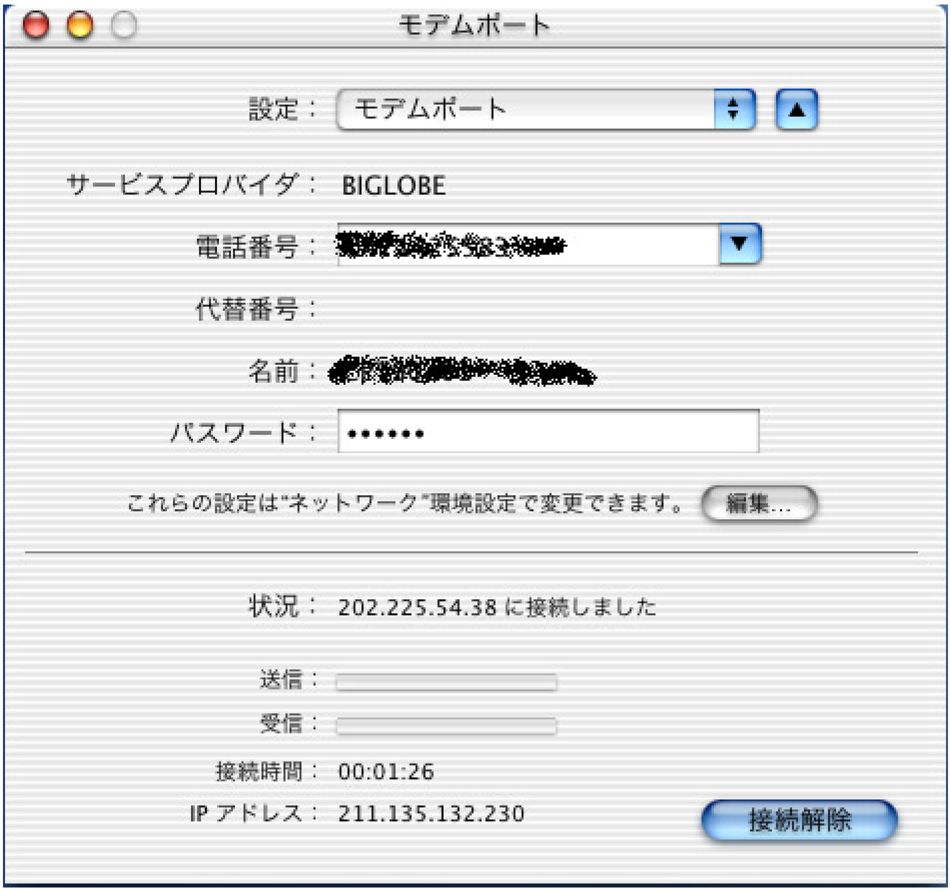
（5）接続が完了すると、「状況：」欄に接続したことが表示されます。



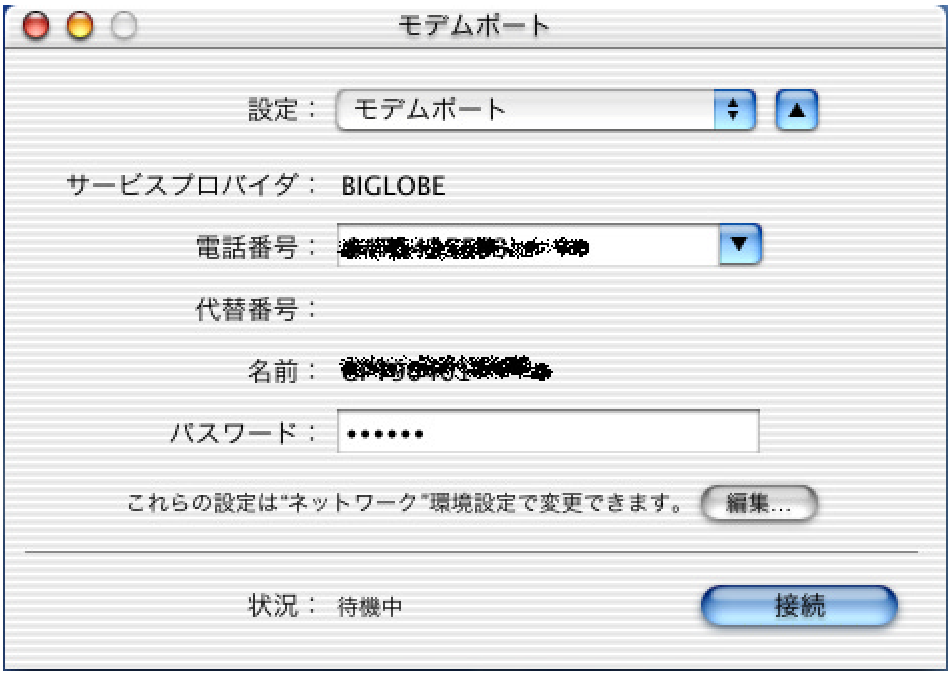
（6）Web ブラウザ（InternetExplorer など）を起動して、インターネット上のホームページの参照ができれば完了です。

５．切断

（１）「接続解除」をクリックします。



（2）通信回線が正常に切断されると、「状況：」欄に「待機中」と表示された後、画面の右下のボタンが「接続」ボタンに変わります。



（ご注意）

・回線がつながったまま放置すると、通信費用がかかり続けます。このようなときは、WARPSTAR と INS ネット 64 を接続しているケーブルを一度抜いて回線を切断してください。WARPSTAR の回線ケーブルを抜くと、WARPSTAR のすべての通信は切断されます。他の機器が通信中（通話中）でないことを確認してからケーブルを抜いてください。

・プロバイダのアクセスポイントまで接続した後に、認証の失敗などで接続できないことがあります。その場合は、接続できなくても通信料金がかかります。